

2019年度後期 公開授業 期間:11/9(土)~11/29(金)

NO	授業コード	分類	科目名	教員	学年・学科	必選	曜日	履修者数	教室	見学可能日	備考
1	1010	専門基礎	流れ学Ⅱ	岩永 正裕	2M	必修	月2	96	3404	11/11 11/18 11/25	M科公開授業: 本講義は双方向授業を目指しています。授業中に手を挙げて発言してくれた学生には中間試験と同等の10点を加算することにして、学生の発言を促しています。授業の終わりが問題を出して、解けた人から退出してよいことにしています。学生達は何度も教壇と自分の席を往復して、問題を解こうと努力します。その際の学生達との触れ合いも大切にしています。
2	1452 1453	専門	医薬・有機合成入門	山口 淳一	2C	選択必修	金1	72	3406	11/22	C科公開授業: 座学の授業です。有機化学の基礎、および有機化合物が生体内で作用する事柄について、解説します。見学にあたっての注意事項等は特にありません。
3	1632	専門	医用治療機器学実習	山家 敏彦	2A	必修	月4	33	K4-301	11/11 11/18 11/25	A科公開授業: 数名ずつのグループに分け、3限は座学指導、4限は実機での実習となりますので4限のみの公開としました。入室見学の際は、実習の妨げになりませんようご配慮願います。【日程毎テーマ】・11月11日(月)の4限:生体情報モニタ、CPAP BIPAP、自己血回収装置、輸液・シリンジポンプ、・11月18日(月)、25日(月)の4限:ネブライザおよび喀痰吸引、除細動器・AED、保育器、肺動脈・心臓カテーテル治療。
4	3273	専門	ロボメカ基礎ユニットⅡ	三枝・木村仁・片山・村重・仲久保	1R	選択	金2・3・4	57	E3-102	11/22	R科公開授業: 体験を重視し、手を動かし、頭を使い、仲間と話し合いながらロボットに関する理解を深めていくユニット授業です。授業公開日はライトレース課題のプチレースを行う予定です。
5	3214	専門基礎	生活ニーズと支援技術	三枝 亮	1R	選択	月2	35	3307	11/18	R科公開授業: 生活の中からニーズを見つけ、技術による支援方法を考える授業です。各回とも前半は座学で介護・医療・福祉・教育分野を学び、後半はグループワークで生活支援技術のアイデアを検討して、期末にコンセプト動画を完成させます。授業公開日はグループごとに中間発表を行う予定です。
6	3445	専門	ものづくりプロジェクトⅠ	金井・山崎・渡辺英・中山	1H	必修	火1・2	50	G2-E206	11/12 11/19 11/26	H科公開授業: 1年生の授業ですので、ものづくりをしたことのない学生への最初のものづくり授業です。
7	4024	専門	バイオ機器分析ユニットプログラム	清水・和田理・市村・局・山村	2B	必修	金2・3	122	2305	11/15 11/22	L科公開授業: 分析機器や実験の原理・理論をわかりやすく解説したムービーを作成する試みを、5名のチーム単位で実施しています。11/15はグループ企画書作成を、11/22は企画書の審査会を行います。
8	4208	専門基礎	生化学Ⅰ	清瀬 千佳子	1L	必修	火4	37	1409	11/26	L科公開授業: 管理栄養士養成課程の専門基礎科目です。2クラスに分けて講義を行っています。前もって図表を配布する事で予習のきっかけを作り、授業内ではキーワードを板書しながら授業を行っています。復習する際はキーワードが説明できるようにと指導しています。このノートは4年次での国試対策用として再度使用します。
9	3025 3026	専門	マルチボディダイナミクス マルチボディダイナミクスS	岡崎 昭仁	2V	選択必修	火1	32	1406	11/19	教育開発センター推薦授業: 本科目では複数物体の動力学を扱います。前期に開講される機械力学Sの履修を推奨していますが、必ずしも全員が履修済みではありません。自動車業界では、シミュレーションによる開発が盛況ですが、「振動」を知り、手計算することで体験的に身につけてもらうよう授業に工夫をしています。また、評価は形成的に行っており、期末試験はなく、4回の課題で採点しています。
10	3033 3035	専門	応用熱力学 応用熱力学S	岡崎 昭仁	2V	選択	火2	43	3101	11/12 11/26	教育開発センター推薦授業: 前期に履修した熱力学・Sの知識をベースに復習による熱力学の修得と自動車に特化した学科であることからガソリン機関、ディーゼル機関などのサイクル計算ができることを目指しています。講義では、要点を2つ、感じたことを書く点数付きのミニットペーパーを課しています。形成的評価のみで採点し、期末試験はなく、数回の課題に加えてミニットペーパーもノート代わりに点数に加えています。
11	4030	専門	生化学Ⅱ	栗原 誠	2B	必修	月2	130	2206	11/11 11/25	教育開発センター推薦授業: 生化学Ⅱでは「代謝」を学びます。この授業では、細胞のどこで、何が、どのように変化して、どうなるのか、といったことを化学的な視点で理解することを目指しています。有機化学が得意でない学生が多いので、前半の「糖質の代謝」では、先ず、演習や小テストを通してグルコースや代謝中間体、良く出てくる官能基の構造を覚えさせました。その後、解糖系とクエン酸サイクルの各反応で生じる物質の変化を板書し、ノートに取らせました。「ここがこうなってる」ことを自ら納得して理解してもらえたらと思っています。
12	6407 6408	導入	基礎化学Ⅱ-a	藤村 陽	1B	選択	火3 木2	34(火) 67(木)	3406 (火木)	11/12 11/14 11/19 11/21 11/26 11/28	教育開発センター推薦授業: 化学熱力学の基本を扱う講義(+演習)です。学生の理解状況に気を配り、学生にとって既知のこの組み合わせで説明することを心掛けています。暗記ではなく、楽しみながらイメージをもって理解できるよう教材や身振り、たとえなど表現にも工夫をして授業を進めています。 (火曜はプレイズメントテストの上位クラス、木曜は下位クラスになります。)
13	6294	専門基礎導入	物理・化学ユニット	藤村 陽 長村 吉洋 五十嵐 正敏 大益 史弘	1B	必修	水3	36	D3-303	11/27	教育開発センター推薦授業: 化学実験の高分子というテーマの中の再生繊維の作製をします。これは銅アンモニアレーヨン(ペンベルグ、キュブラ)という現在でも実用になっている繊維で、体験の側面が強い実験です。授業は、注意点の説明、予習課題の実験手順のフローチャートの確認後、実験、容器洗浄・片付けとなります。4人の教員がついてサポートしながら進めます。
14	0781	共通基礎	実感する科学Ⅱ	栗田 泰生	1M	選択	水4	35	3304	11/13 11/20	教育開発センター推薦授業: 4年ぶりに担当する科目ですので新鮮な気持ちで授業しています。お気軽にご見学ください。
15	6236	専門基礎導入	基礎電磁気学Ⅰ-a	栗田 泰生	1M	選択必修	木3	57	3602	11/14 11/21	教育開発センター推薦授業: 今年度初めて担当する科目ですので、何年も担当している科目に比べて精度は低いかと思います。それでもしっかりとトレーニングしてもらう内容になっていると思いますのでお気軽にご見学ください。教室は狭めです。
16	0141	共通基礎	比較文化論	師玉 真理	1 (U以外)	選択	水3	92	3403	11/27	教育開発センター推薦授業: 私たちは、文化的な諸問題を考える際に、とすると自分の所属する特定の文化からのみ捉えられた自文化中心のものの見方に陥ってしまいがちです。そこで本授業では、狭義の文化(ハイカルチャー)作品にとどまらず、サブカルチャーまでも含めた広義の文化的コンテンツを素材として、そうした狭い文化観に陥らず、相対的に文化を捉え考えていくための視野や意識への転換の契機となることを心掛けています。
17	6003	専門基礎導入	微積分学Ⅱ-c	土谷 洋平	1M	選択	水3	27	3103	11/27	教育開発センター推薦授業: 2変数の微積分の授業です。計算問題はe-ドリルで課しています。問題は学生ごとにランダムに出題されます。数式入力による回答方式で、Excelの記法に準拠した記法で多項式や指数対数三角関数などを入力します。
18	3005	専門基礎	工学基礎演習Ⅱ	脇田、山門、川口	1V	選択	月3	57	B101	11/11, 18, 25	V科公開授業: 数学と力学の実力を養成することを目的としています。Step1からStep26まで基礎的な内容から発展的な内容までを細分化しました。インターネットを使い、manabaのサイトで演習問題を解く形で学習を進めます。疑問等があれば、教員やTAに訊いたり、学生同士で教えあったりします。Stepの理解度を毎回試験によって判定します。合格しなかったStepは、次回以降再度試験を受けますので、全員が同時に同じStepを学習するわけではありません。
19	3023	専門	カーエレクトロニクス	山門 誠	2V	選択	木1	36	3304	11/28	V科公開授業: K-BOOKを使い、カーエレクトロニクス全般(エンジン、変速機、ハイブリッド、走行安全、ブレーキ、ステア衝突安全、情報システム)の講義をオムニバスタイプで行うことにより、興味のある分野を自ら見出し、研究室配属、卒研につながるモチベーションを育てることを狙った教育を実施している。
20	3077	専門	次世代自動車情報通信	脇田 敏裕	3V	選択	月4	14	C5-324	11/11	V科公開授業: V科3年生向けの専門科目、自動運転に関する理論講義とMATLABを用いた実践の実習を行う。11/11はディーブラーニング(機械学習)。